

# ビックリエコツアー 霊長類と環境について学ぶ旅

子供新聞記者報告書

子供新聞記者 中学1年

桂川中学校 遠藤星吾

はじめに...

「人間の祖先は猿」町で聞けば10人中10人はそう答えるだろう自然淘汰説や定向進化など進化の過程はさまざまあるが今話す話題ではないのでまた次回人間の祖先であると言われる理由は様々だが、一番はやはり自然界きっての頭の良さであると思う。

有名な日光猿軍団の猿回し等の芸の細かさと猿自体の芸への理解などはやはり人間の祖先と言わしめるに値すると思う。

しかしその代表格チンパンジーも日本国内でたったの約300匹となってしまいました。

その中でとある大学が75匹を所有し共存・研究をしています何故人間は増え続け自然界なトップを走り続けられるのに先祖は減少するのか僕は霊長類研究所と日本モンキーセンターで学んだ「霊長類と人間はたった1%の細胞の違いである。」という事に特に興味が湧きました。

「それぐらい知ってるよ～」と言われるだろう。実際有名な話だがその1%がとてつもない違いを生み出すのである。

特筆すべき違いは「子殺し」である。オスが他の集団の赤子を襲う、オスが同じ集団の赤子を殺すメスが同じ集団の赤子を殺す等様々なパターンがあるが、どの場合も殺した赤子は食べてしまう。チンパンジーには群れごとに孤立した社会があるがこの子殺しについてはどの様な役割があるかは不明である

たった1%に影響され、様々な形に変化し、たどり着いた人間の形、その形に恥じないような集団生活を送れる社会を作っていければいいと思います。